

川崎市青少年育成連盟 (川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団)

育連だより

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/index.html>

新しい世紀を迎えて創立50周年記念式典開催

川崎市子ども会連盟

平成13年9月29日、ホテル ザ・エルシーに於て式典・祝賀会を開催、来賓関係者多数の参列の中、式典では開会のことばのあと、中島忠三様から連盟旗の贈呈があり、目録が西田副連盟長へ手渡されました。

つづいて、50年のあゆみを辻副連盟長より、昭和27年発足当時の状況、昭和58年分区により宮前、麻生区子連が誕生、現在の七区子連となり、その間の主な活動について述べられた。

表彰式では、連盟の活動に御協力をいただいた個人、団体、会社、連盟役員に感謝状が連盟長から渡されました。又個人には活動歴30年以上、委員会委員10年以上、区子連推せん者、連盟役員、団体は、50年以上活動子ども会、区子連推せん子ども会が表彰されました。受賞者を代表して麻生区子連の渡辺利様より謝辞が述べられました。

表彰式のあと、来賓紹介があり、指定都市連絡協議会会長山本道昭大阪市子連会、山口久文神奈川県子連会長、川崎野球協会会長武田郁三郎様よりあいさつをいただき式典を終了しました。

続いて祝賀会に入り、高橋清川崎市長、菅原敬子川崎市議会副議長よりあいさつを頂き、川崎市より、

各副連盟長に感謝状が授与されました。受賞者を代表して中島連盟長より謝辞が述べられ、子ども達が集めた“お年玉募金”の中より30万円が川崎市に贈呈され、ボーイスカウト川崎地区協議会会長河合武夫様の乾杯の音頭で懇談に入り席上国際交流をかねて、コリア文化サークル“バランセク”(韓国・朝鮮語で「青い色」の意味)によって民族芸能が披露されました。

350名余の来賓、関係者の出席を得、明日に向けて力強い一歩を踏み出し、式典が成功裡に終了致しました。

事務局長 本池虹児



(写真提供 東京新聞)

友情 (第13回目を迎えたボルチモア市と川崎市交流派遣)

日本ボーイスカウト川崎協議会国際委員会 堂本 暁生

アメリカメリーランド州ボルチモア市と川崎市が姉妹都市を結んでいる関係で交流が行われて今回の派遣で13回目になりました。

今年の派遣は、5年間のブランクがありましたが両市の熱心な準備で再開され指導者3名、スカウト(中・高校生)13名の合計16名が渡米しました。

この交流は、ボーイスカウト活動を通じてお互い

に渡米と来日を繰り返す事を基本に、相互交流をしているプログラムで1984年から始まり今年で7回ほど渡米に参加させて頂き、毎回素晴らしい体験をさせて頂きました。

内容は、合同キャンプ、ホームステイを基本に、市内観光、ボルチモア市庁舎への表敬訪問など約16日間の滞在でした。

ボルチモア側のスタッフは、ホームステイの募集、プログラムの立案、受け入れの為の準備は、ホストファミリー、姉妹都市委員会のメンバーと協力しながら完成させる見事なチームワークには感謝の一言に尽きます。

参加したスカウトは、最初、言葉の厚い壁にあたりコミュニケーションを取れず苦勞をしていましたが日が経つにつれてお互いに慣れ、特に、ボルチモア側のホストファミリー家族の友人として心温まるもてなしに感動をしたようで、一生の思い出と友情が芽生えたと確信しました。

過去13回で、両市併せて250名余りのリーダー及

びスカウトが交流してきました。

来年は、ボルチモア市から来日します。心からもてなして、友情を深めたいと思います。



創立40周年記念キャンプ

ガールスカウト

7月20日、川崎市八ヶ岳少年自然の家のワーキングホールで、ガールスカウト川崎市連絡会創立40周年記念キャンプの開会式がシニア、レンジャースカウトの進行で行われました。“未来へつなぐ友情の輪”というテーマで3泊4日のキャンプが始まりました。2日目には富士見高原をパスポートでまわるプログラムで、テンドーフット、ブラウニー、ジュニアはパトロール（グループ）毎で挑戦したり、シニア、レンジャーはパラグライダーを体験しました。夏の高原に元気な声が聞こえた。その夜は大營火で大いに盛り上がりました。3日目、キャンプサイトでのネイチャーゲーム《動物村探検隊》ではパトロール（グループ）で歌ったり、踊ったり元気よく動きまわりました。午後には野外炊事場で《八ヶ岳屋台村》が開かれ、白玉入りフルーツポンチ、豚汁など盛りだくさんのご馳走を部門ごとで作り、みんな

で美味しく食べました。

この記念キャンプを通して友情の輪が深まり未来へつなぐことを願うとともに、お力添えくださった全ての方々へ感謝いたします。スカウト達の「楽しかったね」、「また行きたいな」という感想をきくことが出来ました。



秋のキャンプの1日

川崎海洋少年団

10月6日から8日の3連休に奥多摩町の「境溪谷キャンプ場」を利用しキャンプを実施しました。天候に恵まれて良い3日間となりました。

キャンプ活動の主流となる2日目にハイキングをしました。「むかし道」を1時間くらい歩き、バスで奥多摩湖まで行きました。奥多摩湖やふれあい館の見学を終え、キャンプ場にある釣り堀でニジマス釣りをしました。参加者は釣りを経験したことがある人ばかりです。竿を一本ずつ借りて、えさのハムを付けていよいよ開始です。ニジマスは、お腹がす

いていたのか直ぐにかかりました。水の中から引き上げられるのが、いやなのかニジマスが暴れ回るので、ほかの人の竿や糸とからんでしまい解くのに一苦勞しました。結局一人ひとり順番に釣ることとなり、一匹ずつ釣り上げて投了となりました。そのあと、釣ったニジマスを炭火でじっくり焼いて食べました。

釣りの経験者達の中には、ニジマスをつかめない人がいました。

会長班長研修八ヶ岳宿泊研修は有意義

高津区子連橋地区 青少年指導者養成委員長 新實 勲

13年度、会班八ヶ岳宿泊研修が廃止と聞いた時は何とか続けて頂けないものかと思いましたが川子連のお陰で行けると聞いてホッとしました。

子ども達が楽しくリーダー研修ができるか、指導者の意識改革が毎年必要と思います。参加人数が多いとどうしても無難にプログラムを進めようと子ども達に考えさせることなく終わらせてしまい、考える力と、自主性を持たすことができませんでした。

年齢差が少なく行動力と発想性があることでここ数年ジュニアリーダーの養成に努めたところ大変成長してくれました。

今年の日程が8月末という事で参加者が少なかったのが寂しかったですが、出発から解散までJLの指揮のもとで行いました。

各班5～6名で5班構成、2泊3日のプログラム

をすべて説明し、あとは指導者の「あーせい、こーせい」は無し、ここで自主性をもとにみんなが班長を中心にやさしさ、思いやり、をテーマに活動できるかスタートできます。心配しましたが少し我慢して信頼してあげればかえって楽しい研修会になりました。役員のお節介りいません。学校と違う他校の友だち作り、年齢の違う先輩、後輩の縦の関係、そんな中で野外炊飯、ハイキング、キャンプファイヤーなどなど、JLのやさしいリードも手伝い大変良い結果がでたと思います。ここで経験した事を自分たちの子ども会で活躍できるよう各育成会へバトンタッチします。

八ヶ岳宿泊研修は子ども達と役員指導者にとっても大切な場面、長く続けて頂きたいとお願いいたします。

「GO、GO 五年生」

ガールスカウト

1泊2日で、「パトロール・リーダーとなって行動する。」という目的で、行われました。従来は指導者が立てたプログラムにそって、パトロールの中でのリーダーの役割、技術向上を目的としてきましたが、今回は「パトロールシステム」「実行委員会制度」を重視するという事で、スカウト達がプログラムを立て、実行しました。その楽しさ、むずかしさを感じてくれたらと、思っています。



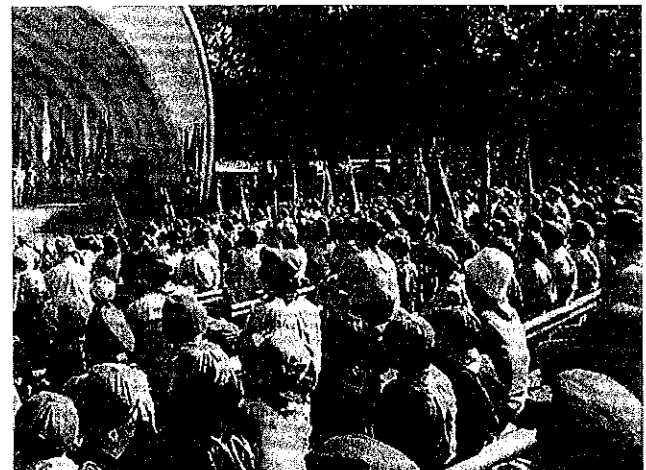
『スカウトチャレンジ21』

ボーイスカウト

9月23日、川崎市平和公園において『スカウトチャレンジ21』と銘打って、ボーイスカウト川崎地区ラリーが開催されました。

晴天のもと、各所でスカウト技能?を競うゲームやクラフトコーナーなど、公園全体がスカウト村に様変わりしたよう……。その中に一般のちびっ子も加わり、一日じゅうにぎやかな歓声が響いていました。

今回は野営行事委員会を中心に各団からの実行委員が加わり、例年以上に斬新で楽しいプログラムが展開され、若手の力が存分に発揮されたラリーとなりました。



家庭教育や子育てに役立つ学級・集会の紹介

教育文化会館・市民館・分館では、家庭教育や子育てに役立つ、次のような集会を実施したり、自主グループが開催する家庭教育学級の支援を行っています。

家庭教育や子育てに一人で悩んでいないで、同じような悩みを持つ親同士で話し合い、経験者や専門家の話を聞いて、悩みの解消に役立ててみてはいかがでしょうか。

施設毎に開催時期や内容が異なりますので、詳細は各施設に直接お問い合わせください。

自主グループ 家庭教育学級	子育てや親子・家族の関係、学校、地域など、家庭教育に関わる様々な課題について学習活動を行う自主グループが教育委員会の支援のとともに開催し、参加者皆で話し合い、専門家の意見を聞きながら、子どもの健全な育成のためのよりよい方向を目指します。
子育て交流集会	主に就学前の子どもを子育て中の親や子育て経験者との交流を通じて、子育ての不安や悩み、困っていることなどをお互いに話し合い、解消しながら、楽しく子育てできることを目指します。

※上記以外にも、ニューカップルセミナー、0歳児（乳児）学級、乳幼児学級、家庭教育学級、PTA家庭教育学級、少年仲間づくりなどの事業もありますので、興味のある方はお問い合わせください。

【問合せ先】

学級問合せ先・ 集会実施施設名	自主グループ 家庭教育学級	子 育 て 交 流 集 会	住 所	電 話
教育文化会館	◎	◎	川崎区富士見2-1-3	233-6361
大師分館		◎	川崎区大師駅前1-1-5	266-3550
田島分館		◎	川崎区追分町16-1	333-9120
幸市民館	◎	◎	幸区戸手本町1-11-2	541-3910
中原市民館	◎	◎	中原区小杉町3-262-1	722-7171
高津市民館	◎	◎	高津区溝口1-4-1 ノクティ2 11階	814-7603
橋分館		◎	高津区久未2012-1	788-1531
宮前市民館	◎	◎	宮前区宮前平2-20-4	888-3911
多摩市民館	◎	◎	多摩区登戸1775-1	935-3333
麻生市民館	◎	◎	麻生区万福寺1-5-2	951-1300

お知らせ

平成13年度春季善行表彰受賞者 笠倉 秀貴（子ども会） 秋山 聡（子ども会）

お詫び

育連だよりNo23の善行表彰受賞者に、次の方がもれていましたので追加します。

関係されました皆様深くお詫び申し上げます。

平成12年度善行表彰受賞者（追加） 上原 娑干雄（子ども会） 永塚 勝武（子ども会）

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒211-0053
中原区上小田中6-22-5

エポック中原5階
TEL 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社

※青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、青少年育成連盟事務局（733～3951）へ